

東員町地域農業再生協議会（三重県東員町）

組織の概要

- 東員町、JAみえいなべ（現JAみえきた）、三重県農業共済組合、自治会、農家組合が構成員となり、H24に設立。
- 管内の全耕地面積は575ha、農家数は394戸。（R2年）
- 各構成員の連携のもと、戦略作物の生産振興や米の需給調整の推進等、地域農業の振興や、農地の利用集積、耕作放棄地の再生利用、担い手の育成・確保等に係る活動を実施。



<収穫間際の「あやひかり」>

生産概要

- 【作付面積】水稻：332ha、麦類：203ha、大豆138ha、そば：5ha、野菜：1ha(R2年)
- 稲作を中心とした経営を行う農家が大多数を占め、野菜等園芸作物の生産は極めて少ない。
- 団体営、県営の基盤整備事業などにより町全域の区画整理がほぼ完了しており、大型機械を活用した効率的な農作業の実施が可能。
- 麦類は、小麦「あやひかり」、大麦「ファイバースノウ」の他、はだか麦を作付け。

取組のポイント

<実需者の需要を踏まえた麦生産の推進>

- 当地域で生産する小麦品種「あやひかり」は、単収の向上等により実需者の求める生産量を確保できているが、今後も引き続き、販売先の県内の製粉業者と連携しながら作付面積拡大を図り、生産の拡大を推進。
- 大麦、はだか麦については、県内の製茶企業等へ販売しており、近年、供給量が需要量を上回る傾向にあることから、需要に応じた生産量を確保しつつ、小麦への転換を推進。

<ほ場の団地化や機械の導入による麦の生産性の向上>

- 再生協議会の総会において話し合いを行い、ほ場ごとの土壌や排水の条件、作業の効率性等を考慮した団地化計画の作成を推進。
- ほ場の団地化と併せ、地域の中心的な生産者におけるコンバイン等農業機械の装備を進め、作付面積の拡大や収量の増加、品質の向上へと繋げる。



<汎用コンバインによる収穫作業>

取組成果

<麦類（小麦・大麦・はだか麦）生産の高位安定化の実現>

■ 作付面積の拡大

203ha（R2）⇒ 223ha（R4）（9.8%増）〔R6目標：222ha〕

■ ほ場の団地化率の向上

66.5%（R2）⇒ 61.4%（R4）〔R6目標：72.9%〕

